

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
日本工学院八王子専門学校	1987/3/27	千葉 茂	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人片柳学園	1956/7/10	千葉 茂	〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
文化・教養	芸術専門課程	放送芸術科	平成30年文部科学省認定	-																							
学科の目的	放送業界や映像業界で活躍できる人材を育成する為に、様々な作品を「見る、考える、作る」を繰り返して、基礎制作力を養います。総合的な知識や専門的な技術を経験者であるプロから学び、更にコミュニケーション能力、ビジネスマナーや著作権の知識、また現場に近い実践的な実習を行うことで「基礎力、技術力、人間力」を身に付けることを目的とします。																										
認定年月日	平成27年2月17日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1,740	1,380		960		120																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
160人	240人	6人	6人	21人	27人																						
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 S: 90点以上 A: 80～90点 B: 70～79点 C: 60～69点 D: 59点以下不合格 P: 単位認定																							
長期休み	■学年始: 4月1日～ ■夏 季: 7月22日～8月31日 ■冬 季: 12月25日～1月4日 ■学年末: 3月22日～3月31日		卒業・進級条件	【進級要件】 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 【卒業要件】 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。		課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 NHK番組技術展見学、InterBEE(国際放送機器展)見学、アメリカロス海外研修旅行、スキー研修旅行 パラ・パワーリフティング国際招待選手権 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) (株)創輝、(株)日企、(株)フラッグス、(株)ヌーベルバーグ、(株)スウィッシュジャパン、(株)バスク、(株)テイクシステムズ、(株)日放、(株)エクサート松崎、(株)ピクト、(株)IMAGICA Lab、ヌーベルアージュ(株)、(株)白川プロ、(株)チトセアート、(株)テレフィット、(株)東京美工 ■就職指導内容 個人面談、模擬面接、春秋合同企業説明会、学内個別企業説明会、J・VIG映像関連事業総合就職セミナー、クリ博就活合同説明会、業界スキル、就職ガイダンス ■卒業生数 : 109 人 ■就職希望者数 : 106 人 ■就職者数 : 98 人 ■就職率 : 93 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 89 % ■その他 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネス著作権検定ベーシック</td> <td>③</td> <td>115人</td> <td>108人</td> </tr> <tr> <td>映像音響処理技術者技能認定試験</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>113人</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>足場 特別講習</td> <td>③</td> <td>42人</td> <td>42人</td> </tr> </tbody> </table> ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 第6回八王子ショートフィルム映画祭の学生部門で「僕とイヤホンと彼女」が観客賞とグランプリを受賞。 第7回八王子ショートフィルム映画祭の学生部門で「on your mark」が観客賞とグランプリを受賞。放送芸術科として2年連続受賞の快挙				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ビジネス著作権検定ベーシック	③	115人	108人	映像音響処理技術者技能認定試験	③	17人	11人	ビジネス能力検定3級	③	113人	90人	足場 特別講習	③	42人	42人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
ビジネス著作権検定ベーシック	③	115人	108人																								
映像音響処理技術者技能認定試験	③	17人	11人																								
ビジネス能力検定3級	③	113人	90人																								
足場 特別講習	③	42人	42人																								

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 9名 ■中退率 4% (休学者2名含まず) 令和2年4月1日時点において、在学者230名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者221名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 就職、経済的理由等</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 担任と主任/科長による面談。懇談会・電話等による保護者との情報共有。 担任による指導のほか経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。 また、休学者にも復学(転科等)の指導・助言・相談も適時行っている。</p>
<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・片柳学園入学金免除制度・若きつくりびと奨学金制度・再入学優遇制度・片柳学園奨学金制度・留学生特別給付制度 ・ミュージシャン特待生・スポーツ特待生</p> <p>■専門実践教育訓練給付: 給付対象</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 有 特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構、平成25年度(平成26年3月31日)受審 http://www.neec.ac.jp/education/accreditation/</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>https://www.neec.ac.jp/department/</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

映像制作の基本技術を日本映画テレビ技術協会など連携企業から教授してもらうことと、映像業界も技術革新の進歩が著しく、業界のスキル標準まで学生の技術力を高めてもらうことを目的として意見を頂戴する。また、意見に対してカリキュラムに反映し、その結果を編成委員へ次回フィードバックする事を目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
渡久山 健	一般社団法人日本映画テレビ技術協会	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	①
西 邦夫	(株)イメージスタジオ・イチマルキュウ	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	③
松丸 明夫	(株)レック	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	③
井上 公二	(株)汐留スタジオ	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	③
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校 校長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
倉重 明	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 部長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
坪井 勇次	日本工学院八王子専門学校 キャリアサポートセンター センター長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
石川 祐貴	日本工学院八王子専門学校 科長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月・9月)

(開催日時(実績))

第1回 2020年11月26日 17:00～18:30

第2回 2021年3月23日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

映像業界の未来と必要な教育についてご意見を頂き、動画配信サイトなど、あらゆるプラットフォームに対応できる人材の育成の為、個人や小グループで企画、演出、撮影、編集、出演など映像に関して幅広い知識が必要になってきている事から、iPad教育を導入して個人制作のワークフローや個人作品の提出を実施。着実に個人のスキルアップ繋がり、PCやタブレットへの苦手意識が無くなりつつある。専門性と同時に二役、三役のスキルが求められる現状を把握する。

連携企業が担当している放送映画実習で実践的なスタジオワークやロケ機材を幅広く習得させる。また、撮影の段取りやスケジュール調整が出来る、最低限の企画書や台本など説明文章が書けることが求められているなどの意見もあり、キャリアデザインや演習などの座学にも反映していく。また、実習でも目標・理解度のチェックを入れてみてはどうかとの意見から、毎実習に学生評価をしていく。映像音響処理技術認定試験は就職活動の際にも有利でもあることから、重点的に座学や実習などにも活用できるようカリキュラム編成を検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 映像制作の基本技術を連携企業の講師から教授してもらうこと、映像業界も技術革新の進歩が著しく、業界のスキル標準まで学生の技術力を高めることを目的とする。また、技術だけではなく実務者である連携企業の講師から学生に対して業界特有の現場意識についても教授してもらうことを目的としている。		
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 1年次ローテーション実習、カテゴリー実習としてコース、分野を詳細に専攻別けして、基礎知識の習得を図り、職業理解に繋げ、専攻コースを決定する。2年次の番組制作を通して専門知識、能力のレベルアップを目的とし基礎力・技術力・人間力を磨き、実践の場での課題を自ら問題解決を思考し、成功体験へと導く。		
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
演習1・2	各コースや分野別に、実習を通して映像制作の基礎を習得します。職業理解を図り、職業選択の指針になる。	株式会社 テレビ東京アート
演習3	主にテレビ業界映画業界への就職を達成するための、即戦力たる技術力を習得することが授業の目的である。主に基礎実習との位置づけで様々な分野の機材知識と操作技術等を学ぶ。	有限会社 ビデオナイト
卒業制作	2年間の集大成として、映像作品の制作を行います。習得した知識、技術を駆使した作品制作を通して2年間の成果を発表する。	
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学校外の関係者による、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能の修得、現状の把握や学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させるために教員研修を実施する。		
(2)研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「5Gを知る、5Gの技術」 期間:2021年1月18日(月) 17:00～ 対象:全教職員 5Gとローカル5G この先の通信事情、ICT教育推進 ②指導力の修得・向上のための研修等 研修名「オンライン授業の在り方」 (連携企業等:株式会社 クリーク・アンド・リバー社) 期間:2020年10月14日(水)17:00～ 対象:クリエイターズカレッジ、デザインカレッジ オンライン授業の進め方 ブレイクアウトルーム、グーグルJamboardの活用法、反転授業の活用		
(3)研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「テレビ、動画配信、CMなど映像の未来」 (連携企業等:キー局関連企業) 期間:2022年2月～3月予定 対象:クリエイターズカレッジ教職員 ②指導力の修得・向上のための研修等 研修名(仮)「4G→5Gでエンタテインメント産業の構造がどう変わるか」 (連携企業等:クリーク・アンド・リバー社) 期間:2021年8月31日 対象:クリエイターズカレッジ教職員 ハリウッドにて、映画の投資や音楽・スポーツのプロモーター等の経験者から、メディアとエンタテインメントの経営・法を専門に学ぶ。テレビ・映画・音楽・スポーツ・イベント等幅広いテーマで、4G→5Gでエンタテインメント産業の構造学び、これから教育に活かす。		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性及び透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性及び指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	(2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム
(3)教育活動	(8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織
(4)学修成果	(13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価
(5)学生支援	(16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人
(6)教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	(25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金
(8)財務	(28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
(9)法令等の遵守	(32)関連法令、設置基準等の遵守(33)個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献(37)ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

ICT教育を全カレッジ全学科の必須の基盤教育として推進していく。これを実現していくために、東京工科大学と連携して教育内容のIT化を推進していく。教育方法のIT化の推進を実現するため、今年度においては、特にICTを活用した先進的で分かり易い教材・教育方法等の開発・実践を進める。

コロナ禍でのオンライン授業などに対応するため、利用し易いIT環境を順次整備を進めている。また、対面授業においても専門家からの意見を参考に、引き続き感染防止対策に万全を尽くしていく。

教員もコロナ禍における授業体制に対応するスキル向上のため、今年度も引き続き教員の就労環境の改善をはかりながら、自発的な能力開発及び向上を目的とした「学校法人片柳学園職員自己啓発支援制度」を積極的に活用できるよう教員の研修体制を整えていく。

地域連携・高専大連携、国際連携等を積極的に推進していく。

募集活動においては、オンライン面談(実施済み)・オンライン出願なども実施していく。また、経済的な問題を抱えている学生へは、高等教育の修学支援新制度を周知しながら修学継続できるような支援策を実施していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	卒業生/IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 専務理事	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	地域関連
山本 哲志	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 管理センター 総務部長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	クリエイターズ 企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
才丸 大介	株式会社カオルデザイン 執行役員 企画戦略室 室長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	デザイン 企業等委員
鈴木 浩之	株式会社田中建設 取締役 建築部長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	テクノロジー 企業等委員
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	スポーツ 企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事務長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	医療 企業等委員
宮崎 豊彦	八王子市私立保育園協会 会長 城山保育園 園長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	医療・保育 団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 令和3年7月31日

URL : <https://www.neec.ac.jp/announcement/28523/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育人人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員・教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価、令和2年度の項目別の自己評価表
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ

URL : <https://www.neec.ac.jp/announcement/28523/>

授業科目等の概要

(芸術専門課程放送芸術科)令和3年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		キャリアデザイン1	就職など進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
2	○		キャリアデザイン2	就職など進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
3	○		一般教養A1	社会人として必要なビジネスマナー、一般常識を身につけ、就職対策、検定対策を学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
4	○		一般教養A2	社会人として必要なビジネスマナー、一般常識を身につけ、就職対策、検定対策を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
5	○		一般教養B1	映像における放送史、映画史、また時事問題などを学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
6	○		一般教養B2	映像における放送史、映画史、また時事問題などを学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
7		○	一般教養C1	クリエイターに必要な用語や方法論、基礎教養を学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
8		○	一般教養C2	クリエイターに必要な用語や方法論、基礎教養を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
9	○		映像リテラシーA1	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
10	○		映像リテラシーA2	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
11	○		映像リテラシーB1	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
12	○		映像リテラシーB2	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
13	○		映像リテラシーC1	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
14	○		映像リテラシーC2	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
15	○		番組制作1	番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
16	○		番組制作2	番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
17	○		演習1	各コースやテーマ別に、実習を通して映像制作の基礎を習得します。	1・前	240	8			○	○			○ ○	
18	○		演習2	各コースやテーマ別に、実習を通して映像制作の基礎を習得します。	1・後	240	8			○	○			○ ○	

19	○	ワークショップ1	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	1・前	60	4	○			○			○	
20	○	ワークショップ2	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	1・後	60	4	○			○			○	
21	○	特別講義1	映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場のさまざまな体験談を聞きます。	1・前	60	4	○			○			○	
22	○	特別講義2	映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場のさまざまな体験談を聞きます。	1・後	60	4	○			○			○	
23	○	キャリアデザイン3	就職など進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
24	○	キャリアデザイン4	就職など進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
25	○	映像リテラシーD1	TVや映画にとどまらない作品研究を行い、映像を学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
26	○	映像リテラシーD2	TVや映画にとどまらない作品研究を行い、映像を学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
27	○	映像リテラシーE1	「美」「心理」という視点からメディアコミュニケーション全般を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
28	○	映像リテラシーE2	「美」「心理」という視点からメディアコミュニケーション全般を学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
29	○	映像リテラシーF1	映像作品のドラマ、バラエティ、ドキュメンタリーなど構成と演出について学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
30	○	映像リテラシーF2	映像作品のドラマ、バラエティ、ドキュメンタリーなど構成と演出について学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
31	○	番組制作3	番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学びます。	2・前	60	4	○			○		○		
32	○	番組制作4	番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学びます。	2・後	60	4	○			○		○		
33	○	演習3	各コースやテーマ別に、実習を通して映像制作の基礎を習得します。	2・前	240	8			○	○			○	○
34	○	卒業制作	2年間の集大成として、映像作品の制作を行います。	2・後	240	8			○	○	○		○	○
35	○	ビジネススキル1	就職など進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
36	○	ビジネススキル2	就職など進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
37	○	ワークショップ3	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	2・前	60	4	○			○			○	
38	○	ワークショップ4	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	2・後	60	4	○			○			○	
39	○	特別講義3	映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場のさまざまな体験談を聞きます。	2・前	60	4	○			○			○	

40	○	特別講義4	映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場のさまざまな体験談を聞きます。	2・後	60	4	○			○			○
41	○	インターンシップ	企業が実施する研修に参加し、現場作業を体験します。	2・通	120	4			○		○		○
合計				41科目	2460時間(128単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目1740時間(84単位)取得すること。選択科目の履修は卒業要件に含まない。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週